

【保健事業の課題】

- 当健保では従前より、重症化予防等に取り組んできたが、**短期的な医療費適正化効果のある事業にも取り組みたい**と考えている。
- 医療費の増大等によるセルフメディケーションへの関心も高まる環境下、**加入者に対して上手な医療とのかかわり方を啓発していく必要性がある**と考える。

【既存の取り組みの課題】

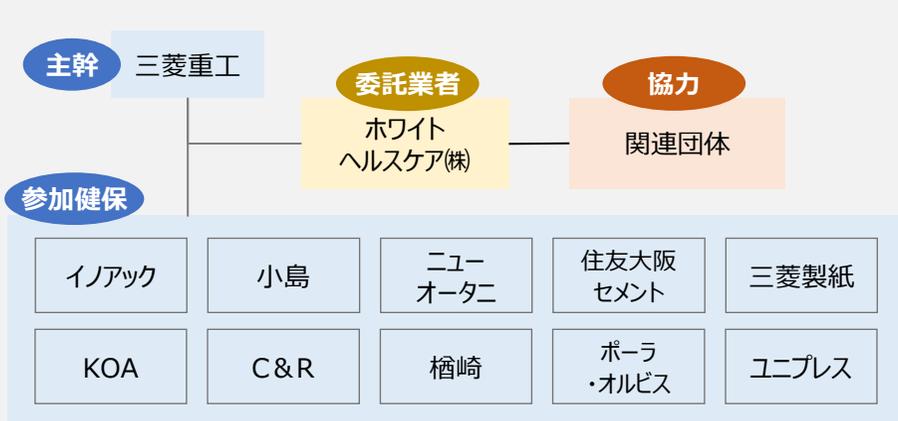
- 当健保では左記対策として、セルフメディケーション推進事業を実施し、加入者のリテラシー向上や医療費適正化効果に取り組んできた。
- 一方で、過去の施策を検証すると、**年代・性別・受診傾向など各加入者の属性に応じたアプローチを行うことが行動変容を促すためには不可欠**と考えられるが、**単独健保では、各属性の人数が極めて限定的であり、正確な効果の検証や費用対効果の高い取組みとしていくには限界**があると考ええる。

**上記課題認識のもと、複数健保でコンソーシアムを組成、共同事業としてセルフメディケーション事業を推進することで、より効果の高い施策を検討し、横展開可能なモデル事業の確立を目指す。**

①健康保険組合によるコンソーシアム組成

- 10以上の健保にて実施（総加入者数：22万人）
- 施策の企画・実施や資材作成は関連団体に検収を依頼

【実施体制図】



②加入者の属性別に、健保横断で施策を実施

- 単独健保ではパイが少ない属性でも、健保横断で実施することにより、効果的なアプローチを実施

【健保横断・属性別のイメージ】

		A健保	B健保	C健保	...
女性	20~30代	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow
	40~50代	Green	Green	Green	Green
	60代~	Blue	Blue	Blue	Blue
	60歳以上向け施策	Blue box with callout			
男性	20~30代	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow
	40~50代	Green	Green	Green	Green
	60代~	Blue	Blue	Blue	Blue
	60歳以上向け施策	Blue box with callout			

その他、関連団体との連携や、ナレッジシェアのための勉強会、PFS(成果連動型民間委託契約方式)の活用を予定

**効果的なセルフメディケーションの啓発施策・資材共同制作**  
**（令和6年5月～令和7年3月）**

**【本事業のベースとなる施策】**

- 加入者全体へのポピュレーションアプローチに加え、レセプトデータの分析結果を元にスイッチOTCへの切り替え可能性が高い加入者への個別アプローチ実施
- 健保加入者専用のOTC医薬品販売サイトの提供
- セルフメディケーション実践に対するインセンティブの付与

**【各加入者の属性・セグメントに応じた施策】**

<例①>

女性のプレメンティズム対策サポートとして、  
薬剤師相談プログラムの実施

【女性加入者向けの薬剤師相談プログラム】

<相談例>

- 妊娠・授乳中/子供でも服用可能な薬はどれ？
- 更年期障害やむくみが気になる
- ちょっとした不調が続くが、病院受診したほうがいいのか？

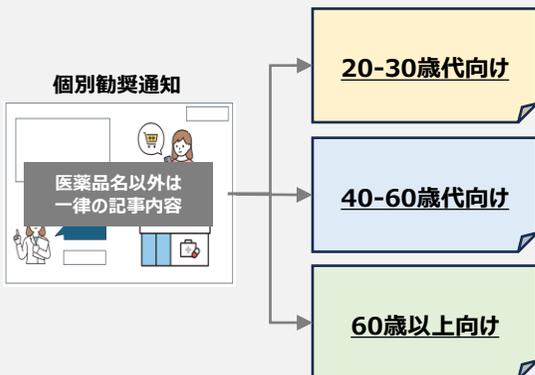
等



<例②>

各世代の関心や課題を踏まえた個別勧奨通知の作成・送付

【加入者属性に応じた通知作成(案)】



**参加健保による定期的な討議・勉強会**  
**（2～3か月に1回）**



PDCAを繰り返し、  
より効果の高い  
施策を模索

- 参画健保が一堂に介して課題やベストプラクティスを共有する環境を設計・運営
- 勉強会の実施による事業の効果向上



**コンソーシアムの拡大**  
**（令和6年12月以降継続）**

- 他健保への横展開
  - 参加健保の拡大
  - 各健保や所属する事業所の属性に応じた分科会の設置 等
- 効果の高い啓発資材・サービスの標準化
- 関連団体との連携

相談後のフォローアップや利用者アンケート、レセプトデータや健保加入者専用OTC医薬品販売サイトの利用状況等を分析し、定性・定量の両面で本事業の効果を検証